



## 太田町政、始動。

3月1日にスタートした与謝野町。  
糸井弘志町長職務執行者からバトンタッチをし、  
新町誕生からちょうど50日目にあたる4月19日、  
太田貴美新与謝野町長が初登庁されました。  
まちの顔が決まり、いよいよ与謝野町、始動します。



職員へ訓示する太田町長。(4/19・役場大会議場)

当然のことながら、地域の理解なくして実行はできません。まさに自助・共助・公助の考え方により、地域のご協力を期待します。また、地球温暖化等による異常気象は住民生活に直接影響を及ぼしています。山の緑を守り、広葉樹林等の緑化推進をしていくこと

### 安心・安全・快適な 住みよいまちづくり

現在、全国各地で問題となっております。子どもたちへの犯罪行為から子どもたちを守っていくには、地域と家庭と学校が一体となった取り組みをする必要があると考えています。

その具体策として「こども110番」や「みはり隊」の設置により、子どもたちや住民が安心して暮らせる安全な社会ができると思っています。

選挙期間中、「新町まちづくり計画」をもとに1007のローカルマニフェスト（政策宣言）を掲げられていました。特に「まちづくりのテーマ」として、5つのテーマを掲げられ、そのテーマの推進のための各種施策を示されていますが、テーマごとにそれらを具体的にどのようを実現されるのでしょうか。

により、大気の浄化、水源の涵養かんようによる保水力の向上、それらが、治山・治水として自然環境の保全につながります。自然を守るということは、子々孫々と受け継がなければならぬ地球規模での課題ではないでしょうか。リサイクルの徹底やEM菌の活用などにより、一人ひとりの力で自然を守っていきましょ。

### 地域とコミュニティを 育むまちづくり

新町の近々のテーマは、住民の一体感の醸成であり、地域の方々の顔の見える身近な行政をつくっていくことです。

加悦、岩滝、野田川の旧町で歩んできた長い歴史の中、まちの個性、文化、コミュニティなど、それぞれに違いや特徴があります。



# 新たな ●巻頭特集 新町長に聞く まちづくりへの挑戦。

去る4月16日に執行された、与謝野町長選挙において、有権者の方々の多くの支持を得て、見事初代町長に当選された太田貴美新町長に、新町のまちづくりについて、その抱負や考えをお聞きしました。

## 太田 貴美 おおた あつみ

昭和21年生まれ。ノートルダム女子大中退。三河内在住。昭和50年に野田川町議に初当選後、副議長、議長などを歴任。平成6年に京都府内初の女性町長として初当選以来、3期野田川町長を務め、加悦町・岩滝町・野田川町合併協議会会長として与謝野町誕生に尽力した。座右の銘は「夢の蓄積は正夢となる」。





# 「あなたが主役」から 「あなたも主役」へ

お互いの優れた部分を調和させ、新町のオリジナルな地域社会を早急に確立する必要があります。

そのためには、住民の方々が与謝野町のまちづくりを真剣に議論し、一体感を共有する場を設けなければなりません。

まずは、旧町単位に地域協議会を設置し、住民と行政が一体となる組織をつくっていききたいと考えています。

行政への要望や意見を伝えるだけの組織ではなく、「自分たちでできることは自分たちで行う」といった自助の考えをもった、地域の課題に対応できる組織づくりをしていきたいですね。

また、私も各地域に出向き、住民の皆さんと直接対話し、皆さんの声を聞きたいと思っています。

## 教育・子育て支援と福祉のまちづくり

子どもたちは私たちの宝です。将来を担う子どもたちを健やかに育てていくことは、私たち大人の

は依然回復傾向の兆しは見られず、和装産業全体としても深刻さを増すばかりです。

産業の活性化はまちの活性化に欠かせません。起業家等の創意工夫により、ベンチャーの育成や新たな産業起こしに大いに期待するところです。

また、地産地消の推進や商店の活性化策を進める一方で、織物と観光のリンクなど今までの見方から角度を変えたものの考え方が求められていると思います。

## 無駄のない行財政運営

合併した目的の一つとして、行財政の効率化があります。

与謝野町では今後大きなハコモノを作ることはありません。今あるものの利用価値が高まるよう、施設の統廃合や利用環境の見直し等が求められています。

また、役場の職員に対する住民の期待は、計り知れないものと考えます。専門知識をもつ職員を育成していくことも合併のメリット

責務でもあります。

当然、学校等の教育施設は子どもたちが安心して教育を受けられる環境でなければなりません。そのためにも、一定の基準をクリアしていない校舎等の耐震化に早急に取り組みます。

また、子育て支援の施策として、学童保育や子育て支援センター、子育てサポートセンター（相談）などを広げることにより、子どもたちを産み育てることのできる環境づくりをすすめていきたいと考えています。

もう一方では、障害者自立支援法の施行等により、障害者や高齢者の方々を取り巻く環境についてもたいへん厳しいものとなつてきています。

であり、住民に身近な職員として、気軽に相談できるような職員教育に努めてまいります。

一方で、職員の削減や事務事業の合理化は必須のことであり、単なる行政改革の計画を立てるだけでなく、実効性があり、住民の皆さんから理解が得られるような計画を皆さんと共に作り上げ、それらのチェックも皆さんにしたいと思っています。

## 5つのテーマを4つの「わ」で結ぶ

新町を、融和を図るなごみの「和」で結び、人や情報のリンクの「輪」をつくり、自然「環」境や歴史を大切に「話」のできるまちづくりを目指します。

## 皆さんと共にまちづくりへの挑戦を

いよいよ新しいまちづくりへの挑戦がはじまります。選挙期間中



就任を祝い、職員から花束が手渡されました。(4/19・役場玄関前)

ています。行政と各種福祉施設の連携、またそれらを取り巻く関係者（ボランティアやNPO等）のご協力により、与謝野町流の福祉社会を構築していきます。

## がんばる企業や起業を支援するまちづくり

今日の社会情勢は景気回復の兆しが見えはじめ、ようやくその明るさを取り戻しつつあります。

しかしながら、これは大企業を中心とする一部のことであり、当町のような零細企業がほとんどの自治体ではほど遠い状況にあります。丹後の地場産業である織物業

に皆さんからいただいた熱い思いやご期待に対し、今改めてその責任の重大さを感じています。

私は、今回の選挙で「持続可能な発展」を推し進めることを申し上げてきました。これは、合併による特例措置が切れる15年後に、新町与謝野町がその後も今と変わらない行政サービスが可能で、住民と協働で終わらなき発展ができるようなまちづくりを今から構築することを意味しています。

まちづくりの原点は「住民がいつもキラリと輝いている」ことであると私は考えています。まちづくりは行政だけでつくるものではありません。「何でもお役所任せ」の時代はすでに終わり、今求められているのは「住民と行政の互いのパートナーシップ」によるまちづくりです。

『あなたが主役』から、がんばれば『あなたも主役』への転換を図り、一人でも多くの方が輝いている与謝野町となるよう、皆さんと共に新しいまちづくりへ「挑戦」していきましょう。



# 町議会議員18人が 決定しました

4月16日に執行された与謝野町議会議員選挙において当選された18人の議員の皆さんに、まちづくりに対する抱負をうかがいました。  
(五十音順、敬称略、年齢は選挙期日の月日現在で記載)



ひろの やすき  
**廣野 安樹**  
弓木・無所属・62歳

お年寄りも若者も子どもも町民みんなが安心して暮らせる「豊かで住みよい新・与謝野町」をつくる為、「未来を担う子供たちの心の教育と環境づくり」「お年寄りが安心して住める社会福祉の充実」「若者が安心して住める新企業誘致」「誰もが気持ちよく住める住環境の整備」「財政効果を上げる町施設の有効利用」など全力を尽くして頑張ります。



はたけやま のぶえ  
**畠山 伸枝**  
岩滝・日本共産党・67歳

日本共産党がおこなったアンケートに寄せられた皆さまの声にこたえて、町内巡回バス、子どもの医療費の中学校卒業するまで窓口払い不要の実現に全力を尽くします。「子育てするなら与謝野町・ひとり暮らしになっても安心して住める町」を皆さんとごいっしょにつくっていききたいと思っております。



なみえ いくお  
**浪江 郁雄**  
三河内・公明党・38歳

新町の議員として、魅力あふれる与謝野町を目指し取り組みます。その為には、現場第一主義に徹し、地域の中に飛び込み、ひとりの人を大切に、ヒューマンイズムの政治をモットーに、政策提言や行政のチェックなど、一つひとつの課題に挑戦します。

そして、皆様と共に、住んで良かったといえる与謝野町を築いて参ります。



ただ まさなり  
**多田 正成**  
三河内・無所属・62歳

新しく与謝野町が始動致します。我が国の財政難は元より町財政も大変厳しい環境に有ります。このままでは福祉、行政サービス他支援策の充実が図れない状況に成りかねない。今こそ、私達町民の皆様お一人お一人の「お声」「お力」を生かし、行政新体制と共に力を合せ我が町をよりよい環境に仕組んでいく事が一番大切と考えます。



こばやし つねお  
**小林 庸夫**  
幾地・無所属・66歳

いろいろな面で国の内外ともに非常にむずかしい今日ですが、将来へ向かっての新生与謝野町の出発点にあたり、多くの方々との対話を大切にして、力強く歩み、そして次代へ希望もてるバトンが渡せる町づくりに微力ですが努力したいと思っています。



いまだ ひろみ  
**今田 博文**  
滝・無所属・57歳

野田川流域に織物業を中心とした2万5千人のまちが誕生しました。今日まで培ってきたそれぞれの町の良さを活かしながら、一体感の醸成と合併効果を発揮することはかせない課題であります。そして「意識改革」と「住民自治」の推進を進めなければなりません。町民の皆さまよろしく願い致します。



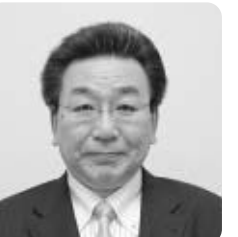
いと い みつお  
**糸井 満雄**  
弓木・無所属・71歳

新生与謝野町にかける町民の皆様の熱い思いをしっかりと受け止め、町政を積極的に支えながら、付託に応えていきたい。子どもからお年寄りまで安心して暮らせる安全で、災害に強いまち、「住んで良かった」「合併して良かった」と思えるまちづくりを町民の皆様と共に推進するため、一生懸命頑張り抜く決意です。



いえ き いさお  
**家城 功**  
三河内・無所属・41歳

町民の皆様が、一人ひとりの手で町づくりをする、子供たちがすくすくと成長できる環境づくりを目指すことが心豊かで安心して生活のできる町「与謝野町」ではないでしょうか。「地域の声、若者の声を行政に届ける。又、行政の今を皆様に伝える」。これを私の仕事として、若さと行動力で精一杯働き、そして暴れます。



あかまつ こういち  
**赤松 孝一**  
四辻・無所属・55歳

仲良く手をつないで、豊かな未来へ向かって、先ず一步。「子ども達の声が弾む町」を目標といたします。  
①人づくり、モノづくり、道づくり。  
②自治意識とコミュニティの高揚。  
③徹底した行政コストの削減。  
④公開された健全なる議会運営。  
⑤自然が財産、人が宝。



もりもと としのり  
**森本 敏軌**  
明石・無所属・58歳

与謝野町の初代議員として、その責任の重大さをしっかりと噛みしめ、効率、効果的な合併効果を発揮させ、地域間の融和と一体感を醸成し、地域の均衡ある発展と、教育、産業、福祉などの進行、活性化を図り、人に優しい、安心安全で夢と希望が持てる活力ある与謝野町づくりに、初心に帰り謙虚に一生懸命頑張ります。



はっとり ひろかず  
**服部 博和**  
下山田・無所属・56歳

“三世代が笑顔で暮らせる町づくり”今私達の住む郷土は若者の流出や産業の衰退で活力の無い町になろうとしています。若者が定住を望んでも働く場所が無くやむなく京阪神へ出て行かなければなりません。産業の振興を図り、若者が定着、Uターンできる基盤づくりが急がれます。若者がこの地で結婚し、子供を産み、にぎやかで楽しい町づくりを目指します。



のむら しょうはち  
**野村 生八**  
三河内・日本共産党・53歳

与謝野町を、住民参加でつくる21世紀にふさわしいまちにします。そのためにも、巡回バス、子どもの医療費窓口無料になど町民の願いを実現する、また大きくなったからこそ、より小さな地域や町民の声が届く地域協議会という新しい仕組みをつくり、今までにない住民参加の町へと進めるために働きます。



たにぐち ただひろ  
**谷口 忠弘**  
加悦・無所属・54歳

この合併が町民皆様の生活・福祉、又それぞれのお仕事にとって良くなったと感じられるように選挙時に掲げた私の仕事(目標)を全力で取り組みたいと思っております。  
●みんなの声が届くまちづくり  
●行政の効率化と有効な施策の提案  
●地域経済の発展と雇用  
●福祉教育の充実  
●豊かな文化安らぎのある地域づくり  
●環境保全



せ はた さとし  
**勢簾 毅**  
与謝・無所属・65歳

町の活性化を図るためには産業の振興が欠かせない。産学協同での新しい分野への挑戦が待たれている。次には住民への影響も大きい都市計画もまちづくりへの基本だ。福祉の町づくりでは「地域福祉を拓く」ため、これまでの縦の構造から横の構造へとより発展させなければならぬ。



うえやま みつまさ  
**上山 光正**  
岩滝・無所属・66歳

(五項目のお約束)一、「特別養護老人ホーム」へ入所希望の待機者解消。二、「働く女性」へ新町独自の子育て支援制度の導入。三、教育施設の統廃合と学校給食への取組み。四、企業の誘致を図る。五、「ゴミ焼却」は選別苦のない溶融炉方式で焼却、リサイクル効果を高め推進する。



いとう ゆきお  
**伊藤 幸男**  
加悦・日本共産党・58歳

私は、福祉とくらし優先・住民の声が届く和謝野町をめざし、住民の声を聞き、巡回バス、子ども医療の窓口無料化、住宅改修助成制度など、高齢者や子育て支援、地域経済活性化のため、安心して暮らせる施策と、歴史と文化の町づくりや循環型農業など誇るべき「加悦町の良さ」を生かそうと訴えてきた。この実現へ頑張りたい。



いだ よしゆき  
**井田 義之**  
石川・無所属・67歳

“きずなでつくる和謝野町”をモットーにそれぞれの地域の歴史、文化を大切にしながら、地域エゴを捨て、心豊かなまちづくりを目指したい。財政状況、今後の財政見通しを常に念頭に、議会としてのチェック機能、提案能力を発揮し、開かれた行政、開かれた議会での“行政・議会・町民のきずな”をつくりたい。“報告会を開催し、皆さんの声を町政に”



ありよし ただし  
**有吉 正**  
岩屋・無所属・57歳

与謝野町のまちづくりに、より広い視野と高い視点で取り組んでいきます。少子高齢化対策、福祉の充実。産業、農業振興はもとより、新しい産業起こしの地盤固めにも取り組んでいきます。周辺地域の活性化が与謝野町の発展につながります。全力を尽くします。みなさんと共に。一心ゆたかな和謝野町に



# ただいま総合健診の申し込み受付中!

健診機会のない方は、年に一度は健診を受け、生活習慣病予防、介護予防に努めましょう。合併して健診が大きく変わりましたので次のことに注意してください。

## 介護予防健診とは

「活動的な85歳」をめざして、生活機能低下の早期発見・早期対応のために、基本チェックリスト(問診)・理学的検査(医師の診察)・血清アルブミン(血液検査)等を行い、生活機能評価をします。

介護予防健診を受けた方で介護予防が必要となった方には、介護予防事業を案内しますので、65歳以上の方は進んで基本健診を受けましょう(介護予防事業については、次回紹介します)。

介護予防健診の項目が基本健診に追加されます(65歳以上対象)

問い合わせ先  
保健課 保健係(加悦庁舎)  
TEL (43) 1514

- 会場が下記の3会場のみとなります。
- 送迎対象地区には送迎バスが地区公民館等から送迎されます。
- 医療機関での基本健診がなくなります。

対象者には、世帯ごとに、対象者家族分申込書を発送しますので、家族と相談のうえ、まとめて返信用の封筒に入れ、ポストもしくは、指定の地区公民館、各庁舎の回収箱に、5月31日(水)までに投函してください。電話での受付はできませんのでご注意ください。

健診費用は、すべて無料です

申し込みは、申込書での受付のみとなります

日程	会場
8/30(水) ~ 9/3(日)	野田川わーくばる  岩滝保健センター 
9/13(水) ~ 9/15(金)	野田川わーくばる  加悦保健センター 
9/4(月) ~ 9/6(水)	岩滝保健センター 
9/7(木) ~ 9/12(火) ※9日(土)は休み	加悦保健センター 

対象者	検診内容	
男性	40歳 ~ 54歳	基本健診・結核、肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診
	55歳以上	基本健診・結核、肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・前立腺がん検診
女性	20歳 ~ 39歳	子宮頸がん検診・骨粗しょう症検診
	40歳 ~ 70歳	基本健診・結核、肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診 子宮頸がん検診・骨粗しょう症検診
	71歳以上	基本健診・結核、肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・乳がん検診 子宮頸がん検診・骨粗しょう症検診

## 「議会」って どんなところ?

### POINT 1 町議会とは?

町議会は、町民の代表である議員で構成され、町民の皆さんの幸せのため、与謝野町がどんな仕事をしたらよいか話し合い、決定します。このため議会を「意思決定機関」「議決機関」といいます。これに対し、町長は実際に「行政」として議会で決定したことを行うことから「執行機関」といいます。

「議決機関」と「執行機関」はそれぞれ独立した機関として対等な立場で議論し、協力しながらよりよい町となるよう努めています。

### POINT 2 議会の構成

【議員定数】 条例によって、与謝野町議会は18人の議員を定数とし、任期を4年と定めています。

【議長・副議長】 議長と副議長は議員の中から選挙で選ばれます。議長は、町議会を代表し、議会の秩序を保ち、議事を整理するなど重要な役割があります。副議長は、議長が欠けたときその代理を行います。

【議会事務局】 議会の庶務的事務や議員の職務を補佐する組織として設置されています。お問い合わせは、議会事務局(加悦庁舎: TEL 43-0215)まで。

### POINT 3 議会の役割

【議決】 「条例の制定・改正・廃止」「予算の決定」「決算の認定」「大きな契約の締結」など町政の重要な事柄を、町議会の議決によって決定します。

【調査と検査】 町の仕事が正しく運営されているか、調査・検査します。

【選挙および同意】 議長や副議長、選挙管理委員会などを選挙したり、教育委員、監査委員などの選任に同意します。

【意見書・要望書の提出】 住民の利益になるような事柄について、議会の意思を「意見書」や「要望書」として、国や府、関係行政庁に提出します。

【請願受理審査】 「請願書」として住民から提出された意見や要望を審査し、町政に反映させるよう努めます。

### POINT 4 議会を傍聴したいんですが...

議場は加悦庁舎の3階にあります。

本会議はだれでも傍聴することができます。委員会については、委員長の許可を受けて傍聴できます。

また、本会議は、有線テレビ(旧加悦町地域)でも録画放映され、町ホームページからライブ中継でもご覧いただけます。(与謝野町HP <http://www.town.yosano.lg.jp/>)



## 「千年の心つなぎて 黒椿」

— 滝の千年ツバキまつり

滝の千年ツバキまつりが4月23日、加悦椿資料館周辺で開催され、京都府天然記念物にも指定されている千年ツバキを楽しみました。

今年は、稲畑汀子・日本伝統俳句協会会長が千年ツバキを詠んだ句碑の除幕式も行われました。俳句雑誌「ホトトギス」を主宰する稲畑会長が、平成8年に椿資料館の開館記念俳句大会に訪れた際詠んだ「千年の心つなぎて黒椿」が句碑に刻まれています。

訪れた人たちは咲き誇った千年ツバキの鑑賞や出店など春の一日を満喫しました。



千本づきがまつりに華を添えました。



お茶席でのおもてなし。

## けっこうなお点前でした

— 岩屋雲岩公園つつじ祭り

「京都百景」「京都府自然200選」にも選ばれている岩屋の雲岩公園で4月9日、つつじ祭りが開催されました。毎年この時期には約5,000本の山つつじやこぶしが咲き誇りますが、今年は長冬の影響もあってか、祭り当日はまだ2～3分咲きといったところでした。

しかし、遊歩道の上がり口に設けられたお茶席には、子どもからお年寄りまでたくさんの人が訪れ、野点を満喫し、祭りを楽しんでいました。

また、たくさんの俳句が寄せられましたので紹介します。

### 「岩屋雲岩つつじ祭り俳句」

順不同・敬称略

無住寺の しだれ桜や 人を待つ 三宅美千子  
 終の地と 思えばつつじ 可憐なる 浪江 綾子  
 石仏の 割れ目にも咲く つつじかな 浪江 和子  
 里人の 愛でしつつじの 今日燃ゆる 泉 幸代  
 つつじ山 気吹きうながす 四方の風 大内 寿代  
 坂登る 薄明かりたる つつじ山 山添清五郎  
 新町を 名乗り雲岩 五分つつじ 安達 道子  
 雲岩に 立ちてのぞみし つつじかな 山崎よし江  
 雲岩に 登れぬ齡 つつじ映ゆ 糸井 和子  
 古の 榮華を今日の つつじ山 山倉 重信  
 雲岩の 仏は花に 鎮もれり 新井 順子  
 雲岩へ 杖を片手の つつじ道 坂根 全  
 寒い春 つつじも今日は 蕾かな 坂根 紘美  
 先人の 遺産を守らむ つつじ山 坂根 吉和  
 黄砂舞い つつじも霞む 雲岩寺 寺内 大輔  
 つつじ見て 娘と一緒に 春を知る 大木寿名男  
 上でつつじ見 下で桜の 花見かな 木村登喜子  
 杖ついて 登る雲岩 つつじ映ゆ 森山 俊雄  
 群れ集う 鐘楼庭の 子らつつじ 森山 道子  
 雪深き 中で作れし つつじ色 森山 道子  
 日々のこと 忘れつつじに 吸い込まれ 時武多恵子  
 薄寒し 息急き頬に 硬つつじ 山崎 洋介  
 紅薄き つつじまつりや 春遅し 石田 卓三  
 年ごとに 眺めるつつじ 良き夫と 石田美代子  
 山かほる 可憐な花に 我が子重ねる 延原麻里子  
 つつじつつじ ゆっくり咲いてね 待ち遠しいよ  
 ダリーマイケル

## 交通安全への誓い新たに…

— 岩滝小学校・交通安全優良校表彰

岩滝小学校の交通安全への取り組みが評価され、4月11日に宮津警察署から交通安全優良校として表彰されました。

平成16年4月、当時岩滝小学校2年生の児童が交通事故にあい、尊い命を亡くすという痛ましい出来事があったから、「二度と悲劇を起こさない」という誓いのもと、学校、家庭、地域が一体となって交通安全への取り組みを進めてきました。

学校では、この日を「命の日」として全校集会を開き、各学年の代表児童が交通安全への決意表明をするなど、交通安全への誓いを新たにしました。



宮津警察署から校長先生に表彰状が渡されました。

## 憩いの散歩道が完成しました

— 「俳句の小径」開通式

三河内区の区有林内にこのほど、「俳句の小径」が完成し、4月16日に開通式が開催されました。区民で組織する「サークルふれあい」（会長：香山幸生氏）が計画し、小径には区民から募った俳句が書かれた句碑が37本並びます。

開通式には、現代俳句協会の宇多喜代子会長を招き、テープカットが行われ、江原三河内区長からは「癒しの場所ができたことがうれしい」と祝辞が贈られました。その後、句碑をひとつずつ眺めながら、小径を散策し、完成を祝いました。



満開の桜が完成を祝っているかのようでした。

## 阿蘇海をきれいに

— 「京都水宣言記念・京都水づくり賞」受賞

府内において水に関する優れた活動を行う個人・団体に贈られる「京都水宣言記念・京都水づくり賞」をこのほど、NPO法人「丹後の自然を守る会」（代表：蒲田充弘氏）が受賞されました。

同会は、丹後・中丹地域において、阿蘇海等の水環境保全に向け、家庭から排出される食用油の回収・再利用を実施しているほか、阿蘇海周辺での清掃等の美化活動や小中学生を対象とした環境教育等を通じて、水環境の保全に尽力されています。

蒲田代表は「合併をきっかけに、阿蘇海をきれいにしていこうという運動が広がっていけば」と話されていました。



同会が「菜の花プロジェクト」として整備した阿蘇シーサイドパークにある菜の花畑で撮影。





マイケル ダリー Michael Dalley

1976年生まれ。カナダ出身の29歳。平成16年8月から旧野田川町の国際交流員として活動。5月中頃(予定)に開設する英語版町ホームページの英訳も担当しています。その中でもコラムを掲載しますのでぜひご覧ください。

# -First Edition- 草の根国際交流

**与** 謝野町にはJETプログラムに参加者が4人います。JETプログラムの「語学指導を行う外国青年招致事業」の略で、地方自治体が総務省、文部科学省、外務省及び財団法人自治体国際化協会の協力の下に実施しています。平成17年度で開始から19年目を迎え、招致国は4カ国から44カ国に、参加者も848人から5,853人へと発展してきています。

参加者はCIR(国際交流員)、SEA(スポーツ国際交流員)とALT(外国語指導助手)の3つに分かれており、与謝野町には学校勤務ALTは3人で、教育委員会の教育推進課勤務CIRは1人います。

私は、京都市内、計5人のCIRの1人、ダリーマイケルです。CIRとして、日本で草の根レベルでの国際交流を推進していく役割を担い、様々なアイデアを持って来ました。

勝手ながら、私はそのアイデアをこの記事に書かせていただきます。そして、もうすぐできる与謝野町のホームページには英語版のページだけではなく、このような国際交流に関する日本語の記事も載せますので、ぜひご覧ください。

私は旧野田川町で国際理解の芽生えを培ってききましたが、3町が合併して与謝野町に生まれ変わり、3倍頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

**時** の贈り物 (第一回)

与謝野町には貴重な文化財が数多く残っています。今回からシリーズでそれらの文化財を紹介していきます。どうぞお楽しみに。

三河内地区では、毎年5月3・4日に曳山行事が行われます。6町内から出される大織、神楽殿「浦嶋山」「春日山」「倭文山」「八幡山」の見送り飾られた山屋台を中心に、御旅所から倭文神社参道までの道中を賑やかに囃子ながら巡行します。

山屋台は、祇園祭の山鉾よりやや小振りですが、1階部分に囃子方が乗り、2階にダシと称する祭神をのせ、見送り幕等で豪華に装います。大織から続く屋台の行列が三河内の町内を巡行する様は雄大で、山屋台を曳き回す風景は、見ごたえがあります。

曳山行事は、江戸時代後期頃にはじめられたと伝えられ、当時の丹後ちりめんの活気がうかがえます。昭和20年頃までは、4町内で子供芸屋台も出していたようです。

昭和62年に京都府登録文化財に、平成元年には野田川町指定文化財に指定されています。

(与謝野町教育委員会)



## 今月のオススメの一冊

与謝野町立図書館 (知遊館 1階) TEL 46-2451  
加悦分室 (加悦地域公民館 2階) TEL 43-0335  
野田川分室 (町中央公民館 1階) TEL 43-0087

● 一般書

● 児童書



『本を旅する』

出久根達郎 著  
河出書房新社

直木賞作家で古書店主でもある著者による234編のエッセイを収めた1冊。与謝野町ゆかりの歌人と謝野晶子の歌集『みだれ髪』のエピソードをはじめ、作家や本の話が深い知識に基づいた簡潔な文章で描かれ、本好きな人はもちろん、そうでない人も気軽に本の世界を自由に旅できます。



『しばわんこの和のころ』

川浦良枝 絵と文  
白泉社

日本に古くから伝わる和の作法や四季の行事について、丁寧に描かれたイラストで紹介。しばわんこのように日々の暮らしを季節を感じながら大切に過ごす「和のころ」を持つことができたら素敵ですね。



『ライオンと魔女 ナルニア国ものがたり1』

C.S.ルイス 著 瀬田貞二 訳  
岩波書店

ファンタジーの本場イギリスで50年以上前に出版され、今年映画化された話題作。古い衣装ダンスの扉を開けると、そこは白い魔女の支配によって100年間冬が続くナルニア国。4人の兄弟は現実と不思議の国を歩き来しながら、ナルニア国を救うための冒険に立ち向かいます。



『ぼくそらを さわってみたいんだ』

さとうわきこ 作 岩井田治行 絵  
ポプラ社

ある日空をさわってみたいと思った子猫は、いろんな動物たちの力を借りてチャレンジしますが…。きれいな空の絵は5月の青空にぴったり。願いはかなったかどうか、ぜひご家族で読んでみてください。



図書室からのお知らせ  
(6/15まで)

開館時間  
午前10時～午後6時

休館日

本館・加悦分室(毎週月曜)

5/15・22・29

6/5・12

野田川分室(毎週火曜)

5/16・23・30

6/6・13

共通(毎月最終木曜)

5/25

おはなし会のお知らせ

本館

5/13(土)

6/3(土)

①午前10時30分

②午後3時

野田川分室

5/20(土)午後3時

加悦分室

5/20(土)午前11時

6/10(土)午前11時

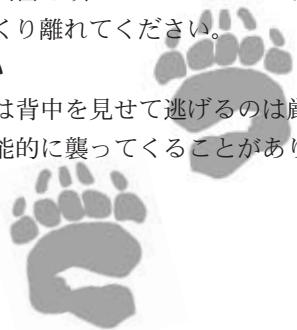
クマの出没に注意してください!

山でクマと会わないために

- 入山しようとする地域でクマの出没情報はないか注意する  
地元の人から情報を集めるなどして入山してください。
- クマの足跡があるところに行かない  
新しいクマの糞や足跡を見つけたらあわてず注意しながら行動してください。林外の安全な場所がある場合は、すぐに移動してください。
- クマに自分の存在を知らせる  
クマは嗅覚が優れ、耳も人間より優秀です。たいてい人より先に人間の接近を知れば遠ざかるので、笛や鈴、ラジオを鳴らして歩きましょう。
- クマが活発に行動する朝夕の行動には注意  
朝夕、人の活動が静まる時間帯にクマは行動が盛んになります。
- 霧や雨の日、川の近くでは注意する  
山中でこのような場面では、クマも感覚能力が発揮できず、人の気配に気づかず近くまで接近してしまうことがあります。
- 子グマを見たら近づかない  
近くに親グマがいます。近づいたりすると子グマを守るため襲ってくる場合があります。すぐその場から立ち去りましょう。

もし出会ってしまったら...

- あわてない  
遠くにいるだけでは心配はありません。そっと立ち去りましょう。
- 騒がない  
大声を出さない。石や棒切れを投げない。興奮させるだけです。
- 威嚇行動には注意する  
前進と後進を繰り返して威嚇することがあります。
- そっと下がる  
距離はお互いの興奮を鎮めることになります。できるだけゆっくり離れてください。
- 走って逃げない  
十分離れるまでは背中を見せて逃げるのは厳禁です。クマは本能的に襲ってくる場合があります。



クマ出没についてのお問い合わせは、  
農林課（加悦庁舎：TEL 43-2191）まで

身体障害者巡回更生相談のお知らせ

■相談内容

- 医学的相談（整形外科・耳鼻咽喉科・眼科）
- 補装具相談
- その他の更生相談

■相談上の留意事項

- 相談される方は、相談内容の概要を事前に福祉課（TEL 43-1513）までご連絡ください。
- 身体障害者手帳所持者は、手帳をご持参ください。
- 補装具についての相談は、現在使用中のものをご持参ください。

日程	受付時間	実施機関	会場	相談科目		備考
				整形外科	耳鼻咽喉科	
5/12(金)	13:00~15:00	京丹後市	アグリセンター大宮 0772-64-5630	○	補聴器相談	
5/23(火)	14:00~15:30	福知山市	福知山市総合福祉会館 0773-23-3573	○	○	
6/6(火)	13:00~15:00	伊根町	伊根町老人福祉センター「泊泉苑」 0772-32-0176			補装具相談
6/16(金)	13:00~15:00	舞鶴市	舞鶴市身体障害者福祉センター 0773-63-3008	○	補聴器相談	
6/27(火)	13:00~15:00	福知山市	福知山市東部保健福祉センター 0773-58-3002			補装具相談
7/7(金)	13:00~15:00	京丹後市	丹後市民局（旧丹後町役場） 0772-75-0260	○	○	
9/8(金)	13:00~15:00	与謝野町	野田川わーくばる 0772-42-7711	○	補聴器相談	

【注意事項】●補聴器相談は京都府身体障害者更生相談所の職員による補聴器の使い方、調整の仕方等の相談であり、医師による医療相談はありません。●6月6日と6月27日は補装具相談ですが、整形外科医師の同行はありません。

青い鳥郵便葉書の無償配布について

日本郵政公社では、重度の身体障害者および重度の知的障害者の方で希望される方に、青い鳥をデザインしたオリジナル封筒にくぼみ入り通常郵便葉書をお入れして無料で差し上げています。ご希望の方は、お近くの郵便局へお問い合わせください。

■対象者

- 重度の身体障害者（1級または2級の方）
- 重度の知的障害者（療育手帳A）

- 受付期限 5月31日(水)まで
- 配布葉書 くぼみ入り通常郵便葉書（一人あたり20枚が上限）
- 申込方法 お近くの郵便局に身体障害者手帳または療育手帳を提示し、所定の用紙に必要事項を記入してください。
- 配布方法 郵送または郵便局窓口でお渡しします。

くぼみ入り通常郵便葉書は、葉書の上下・表裏が分かるように表側左下の一部に半円形のくぼみが入っている郵便葉書であり、全国の郵便局で発売しています。

(正) 8, 8, 8, 7, 5	(誤) 8, 8, 5, 0	14頁(まちの動き・世帯数)	加悦小学校 作業員 山田紀美子	石川小学校 作業員 山田紀美子	加悦小学校 作業員 後藤知恵子	8頁(職員人事異動)	(誤) 加悦小学校 作業員 後藤知恵子	(正) 本田	(誤) 上原	3頁(地域振興課)	(誤) 山口眞(上) 山口眞(下)	(正) 白須(上) 白須(下)	3頁(会計室)	(誤) 坂本課長	(誤) 吉田課長	3頁(建設課)	訂正とお詫び	広報よさの4月号で次のとおり誤りがありました。訂正してお詫びいたします。
-------------------	----------------	----------------	-----------------	-----------------	-----------------	------------	---------------------	--------	--------	-----------	-------------------	-----------------	---------	----------	----------	---------	--------	--------------------------------------

この欄で紹介する出生とお悔やみは、3月16日から4月15日までの届け出分です。また、役場窓口で届出の際に希望された方のみを掲載しています。

町内に配付している  
広報誌には掲載しています



町内に配付している  
広報誌には掲載しています



・まちのうごき・  
平成18年4月1日現在

人口	25,721人(-133)
男	12,216人(-66)
女	13,505人(-67)
世帯数	8,861戸(+11)

※括弧内は前月比



# 町の 「花」 「木」

## を募集します。

平成18年3月1日、岩滝町・加悦町・野田川町が合併して与謝野町が誕生しました。町では、新たに「町の花」・「町の木」を制定し、「水・緑・空 笑顔がやくふれあいのまち」

として与謝野町の発展を図っていきたいと考えています。皆さまからのアイデアを募り、選定委員会で選定していく予定です。ふるってご応募ください。

- 応募資格：原則として与謝野町に在住の方。(町出身者等も可)
- 応募方法：「5/10発行 広報よさのお知らせ版」のハガキを切り取ってご使用ください。  
※官製ハガキでも応募できます。(記入事項等詳細はお知らせ版をご覧ください)
- 応募締切：6月16日(金)まで(当日の消印有効)
- 応募先：与謝野町役場総務課内「与謝野町の花」・「与謝野町の木」選定係
- 発表：町ホームページ、広報誌で発表します。制定された花・木に応募された方の中から抽選で5名に粗品を進呈します。